S—⑳　2-1
初版：2021年　9月　1日
改訂：2023年　8月　1日

FULL HEIGHT DOOR®

STEALTH MODE　ステルス枠
フルハイトドア®

施工手順書⑥-2

ヴェトロ(VETRO)
ミラノ(MILANO)

片開き戸

ステルス枠　施工手順書一覧

共　　通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。
※マルコシリーズの2･3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。

①木工事
①-1ステルス枠・標準仕様 ／ ①-2.ステルス枠・準耐火仕様
①-3.インセット枠仕様

②クロス・塗り壁工事
(ステルス枠・インセット枠共通)

③扉・金物の取付
(ステルス枠・インセット枠共通)
③-１. 開き戸
③-２. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、２枚引違い戸(上吊)
③-３. ２･３枚引込み戸(上吊・連動)、３枚引違い戸(上吊・連動/非連動)
③-４. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット
④-１. 折れ戸　④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸
④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア
⑤-１. 片引き戸(上吊)　⑤-２. 片開き戸

⑥ヴェトロ・ミラノ
⑥-１. アウトセット片引き戸(上吊)　⑥-2. 開き戸

⑦カエサル
⑦-１. スイング戸、、両スイング戸、サイドガラスユニット
⑦-２. アウトセット片引き戸(上吊)

⑧マルコ
⑧-１. 3枚引込み戸(上吊・非連動)　⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット
⑨-１. スイング戸　⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸

kamiya

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

⚠注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

○ 枠･下地枠の取付は、水平･垂直･ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
○ 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

●ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

○ 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
○ 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

● 施工前及び施工時の確認

○ 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
○ 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった
施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
○ 高温･高湿の環境条件では使用できません。
○ 施工前に部材の数量･キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
○ 部材を保管する場合は湿気･直射日光を避け、十分な養生をしてください。
○ 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
○ 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
○ 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
○ 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ･破損･色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

○ お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
○ 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
○ 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
○ 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

kamiya
Full Height Door

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

forステルス枠

施工手順書2021/9作成
2023/8更新

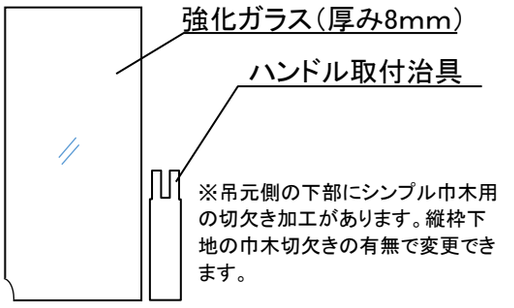
■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具　必ず2人以上で吊り込みしてください。

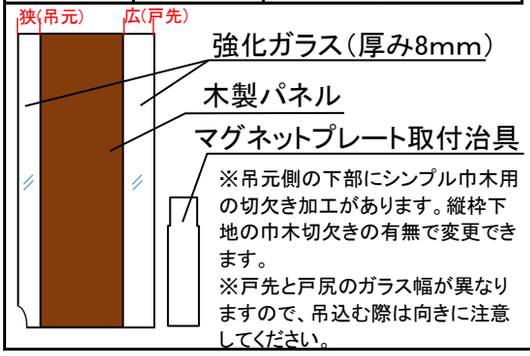
＜VETRO＞

部材	数量	備考
扉（ガラス）	1枚	強化ガラス8mm厚 フィルム貼り無し ガラスのため 取扱い注意



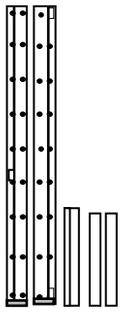
＜MILANO＞

部材	数量	備考
扉（ガラス）	1枚	強化ガラス8mm厚 フィルム貼り無し ガラスのため 取扱い注意



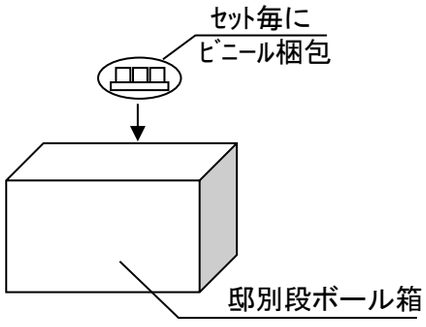
下地枠

部材	数量	備考
縦枠下地	2本	
上枠下地	1本	下がり壁付の場合のみ同梱
開口定規	1本	下地枠内(狭)寸法用
	1本	下地枠内(広)寸法用
コーススレッドビス75mm	28本	縦枠下地取付け用
施工手順書	1セット	



建具金物箱

部材	数量	備考
金物箱	10セットに付1箱	



ヒンジセット

＊：MILANOは黒色　2ケ1セット

ハンドル

＜VITRO用

2ケ1セット

＜MILANO用＞

2ケ1セット

ハンドル取付治具

使用しません　1ケ

ガラスクリーナー

1ケ

マグネットホルダー

1ケ

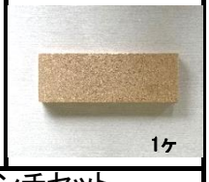
マグネットプレート

1ケ

プレート用接着剤

1ケ

吊り込み用治具



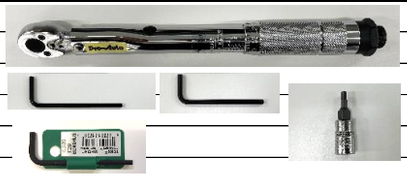
1ケ

トルクレンチセット

1セット

トルクレンチセット内訳

- トルクレンチ本体
- トルクレンチソケット3mm
- 六角呼び3
- 六角呼び4
- ヘクサロビュラLレンチT20



クッション材

その他必要工具

- 電動ドライバー
  （φ3キリ・プラス）
- プラスドライバー

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

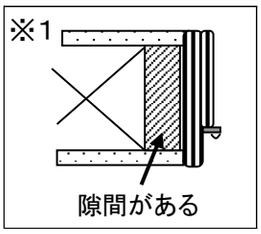
forステルス枠

施工手順書2021/9作成

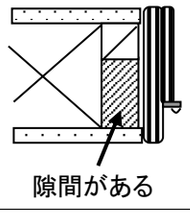
2023/8更新

1 施工前の確認事項

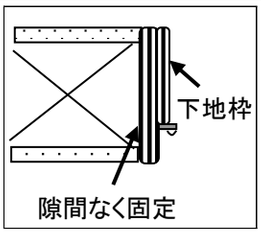
① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ＲＯＷ寸法）と高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



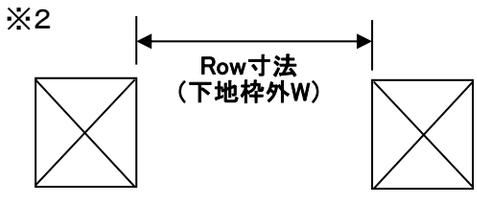
×



×



○



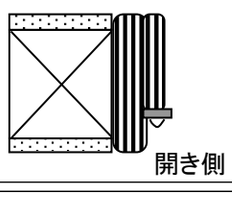
図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認

注意

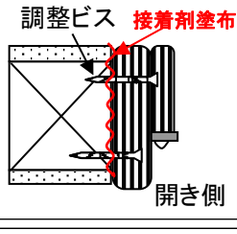
※1：下地枠は躯体（構造材）に取付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2：施工前のW寸法確認は、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地の取付

① 縦枠下地を柱に固定します。(下地断面の厚みが薄い方が開き側）枠の位置は壁厚の真ん中に置き、柱にあててレーザー等で立ちを見ながら、同梱されているビスにて枠の固定を行ってください。

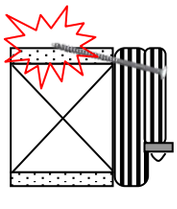


下穴を空ける



ビスと接着剤で枠を固定

ビスは枠より飛び出さないように固定、及び調整を行ってください。



【注意】
ビスが長い為、斜めに入るとビスが突き出る可能性がある為、下穴をまっすぐに開けてから取付る

注意

※縦枠下地は柱に直接取付けてください。2mmパッキンは入れないのでご注意ください。
※躯体がスタッドの場合は石膏ボードに直接、縦枠下地を取付ると調整ビスが利かないので、必ず間に木材（15㎜以上）を入れてください。

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

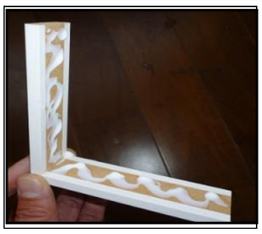
forステルス枠

施工手順書2021/9作成

2023/8更新

3 幅木取付

① 幅木を接着剤にて、縦枠下地の欠き込み部分にはめ込むように取付けてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布

下地の幅木欠き込み部分(7×30)

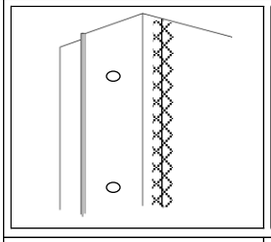
下地の欠き込み部分にはめ込む様に取付け

注意

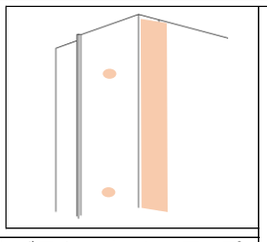
※出荷時には、シンプル幅木の欠き込み（7×30）がされています。30㎜以上の幅木をご使用の場合は、現場にて高さ方向の切り欠きを行ってください。
（幅木７㎜以上の対応は行っておりません）

4 クロス施工【袖壁納まりの場合】※塗り壁仕様はございません

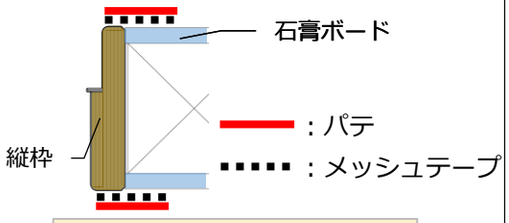
① **縦枠と石膏ボードのジョイント部に**メッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。



ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る

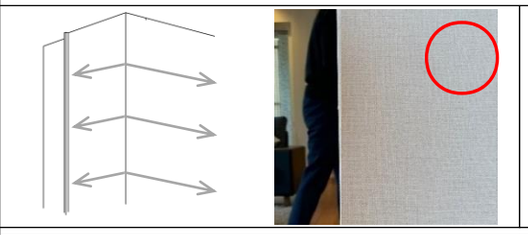


ビス穴、メッシュテープ部、縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)

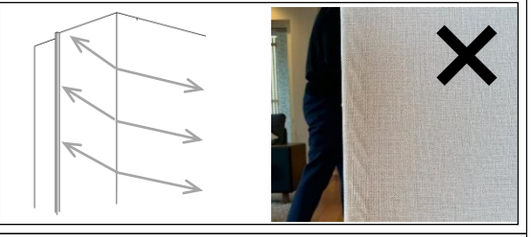


枠小口・石膏ボード接合部にメッシュテープ・パテ処理

② 下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。
金物加工部もクロスを巻き込んで貼って下さい。



枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る



枠に巻き込む際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながらと貼るとクロスよれの原因となります

注意

※メッシュテープ貼り→パテ下塗り→パテ上塗りを推奨します。
※縦枠の木口面全体にパテを塗ってください。
※隠し丁番の為、塗り壁仕様はできません。

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

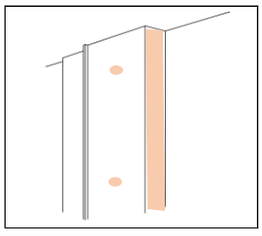
forステルス枠

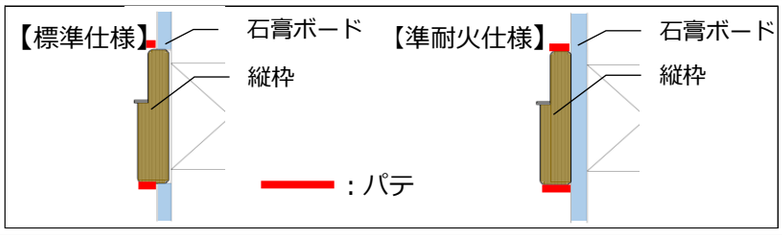
施工手順書2021/9作成

2023/8更新

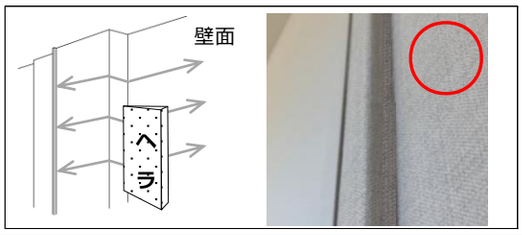
4′ クロス施工【入り隅壁納まりの場合】※塗り壁仕様はございません

① 枠の入隅部は貼りづらく、クロスを貼る際にクロス面積が大きい壁面のクロスに引っ張られやすくなりますので注意が必要です。
縦枠の木口面にパテ等を塗り、クロスは上下左右余裕を持ったサイズで木口にヘラ等で壁面のクロスに引張られないようにまっすぐ貼って下さい。

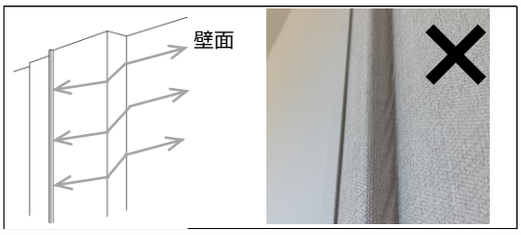




ビス穴、縦枠の木口面全体にパテを塗る
(木口面の見附寸法が小さく、パテが塗りにくい箇所はコークボンドを塗る)
※但し、クロス厚が薄い場合はコークボンドで不陸が出ないようにご注意ください



枠の入隅部に貼る際、クロスは上下左右余裕をもったサイズで木口にヘラ等をあてながら壁面のクロスに引っ張られないようにまっすぐ貼る



枠の入隅部に貼る際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながらと貼ると壁面のクロスに引っ張られ、クロスよれの原因となります

注意
※メッシュテープ貼り→パテ下塗り→パテ上塗りを推奨します。
※縦枠の木口面全体にパテを塗ってください。
※隠し丁番の為、塗り壁仕様はございません。

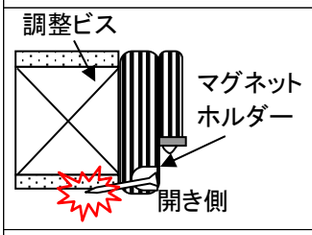
5 マグネットホルダーの取付

① クロスが乾いてから受け加工部にカッターで切り込みを入れ、マグネットホルダーを差し込みます。
下穴を開けた後に同梱のヘクサロビュラLレンチT20を使い、同梱ビス(✶4.5×40)で取付けます。
金物は別途金物箱にあります。

金物加工部分を
カッターで切り込み

クロスを巻き込み、金物をはめ下穴φ3を空ける

同梱のヘクサロビュラLレンチT20を使い、
同梱ビス(✶4.5×40)で取付ける



【注意】
取付ビスが斜めに入ると枠を突き破る可能性があるので、予め下穴を開けてから、取付けてください。

斜めにビスが入らないように
下穴を空けてからビスを打つ

【注意】
正しい向きで取付る

注意

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

forステルス枠

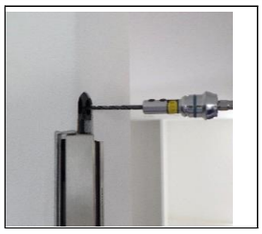
施工手順書2021/9作成

2023/8更新

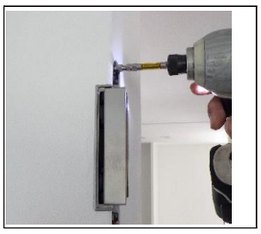
6 ヒンジの取付

① 枠の加工部にヒンジを取付けます。
加工部のクロスにカッターで切り込みを入れ、ヒンジを同梱ビス(4.5×30)で取付けます。

加工部にカッターで切り込みを入れる



クロスを巻き込みヒンジをはめ、下穴φ3を空ける



同梱ビス(4.5×30)でヒンジを取付る

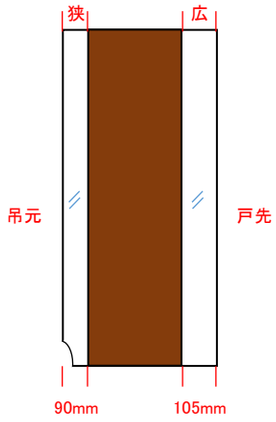
注意 **※ビスが斜めに入らないように下穴を空けてから取付けてください。**

7-1 扉の吊り込み ※必ず2人以上で吊り込みしてください

注意

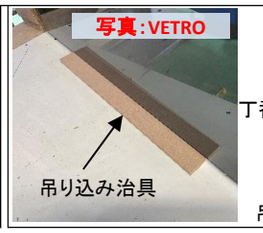
MILANOは戸先と吊元でガラスの幅が異なります。
扉の向きに注意して吊込み作業を行ってください。

<ガラス幅>
戸先：105mm
吊元：90mm

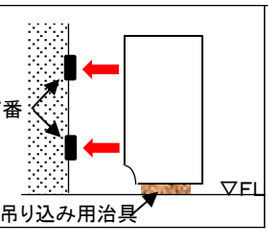


① 上下ヒンジを開いた状態にします。
同梱の吊り込み用治具を置き、ヒンジ側下部に切欠きがくるように扉を立て、吊り込み用治具の上にガラスを置きます。ガラスをスライドさせていき、ヒンジのブラケットにガラスを差し込みます。

上下ヒンジを開く

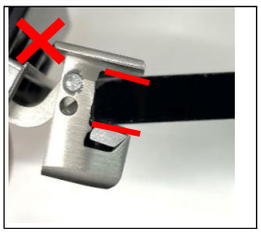


吊り込み治具を引きガラスを乗せる

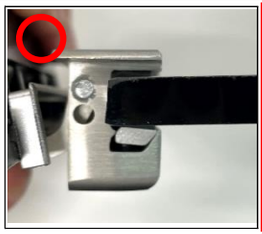


ガラスの切欠き面が吊元側下部になる

扉をスライドさせ、ヒンジに差し込む



ブラケットに対して斜めにガラスが入っている



ブラケットとガラスが平行に入っている

【注意】
ガラスはまっすぐ奥まで差し込む

注意 **※ブラケットが平行にガラスを挟むように吊り込んでください。曲がっていると扉が脱落する恐れがあります。**

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

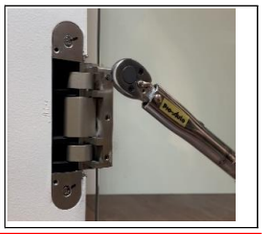
2023/8更新

7-2 扉の吊り込み　※必ず2人以上で吊り込みしてください

① ブラケットのシールを剥がします。
同梱のトルクレンチを使用し5Nで締め込み吊り込み治具を抜きます。
トルクレンチの使用方法は下記QRコードからご確認ください。

ブラケットに着いているシールを剥がす

手動で3ヶ所の六角を均等に締める



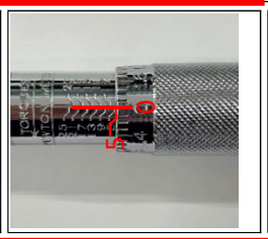
トルクレンチに3㎜ソケットを取付、5Nで締める

扉の下に引いた吊り込み用治具を抜く

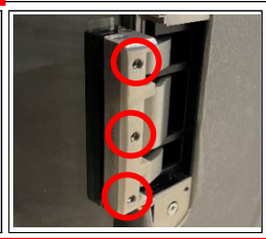
↓詳しいトルクレンチ使用方法

トルクレンチ設定

5Nで”カチッ”と音がする



【注意】
必ず5Nで締め込む



【注意】
均等の力で締める

注意

※必ずトルクレンチを使い5Nで締めてください。扉が脱落する恐れがあります。
※必ず均等の力で締めて下さい。正常にガラスを挟むことができず扉が脱落する恐れがあります。
※必ず5Nの力で締めてください。締め過ぎるとガラスが破損する恐れがあります。

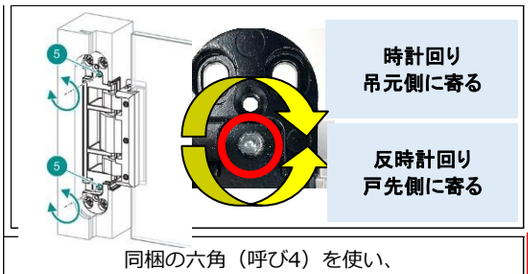
8 ヒンジの調整

ガラスを吊り込んだら戸先側のガラス木口とマグネットホルダーのクリアランスを調整します。
ヒンジ部分を同梱の六角（呼び4）を使い左右調整をしてください。

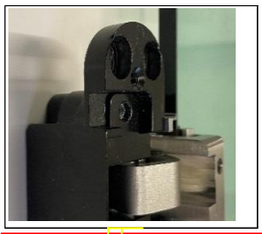
推奨クリアランス：5㎜

【調整範囲】
戸先側方向+3mm
吊元側方向-2mm
※高さ調整はありません。

【注意】
上下ヒンジ4箇所を均等に回しながら調整して下さい。

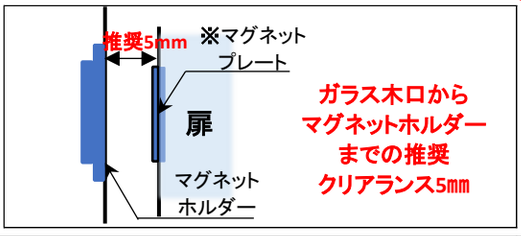


同梱の六角（呼び4）を使い、左右調整をする



戸先側に調整する際、段差は1mm未満まで

同梱ビス(4×10)でカバープレートを取付る



※12-1で取付るマグネットプレートは24時間の養生が必要な為プレートを取付る前に調整してください。

注意

※必ずガラスの表面を綺麗にしてから取付けてください。汚れや埃が残っていると接着されない恐れがあります。

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

forステルス枠

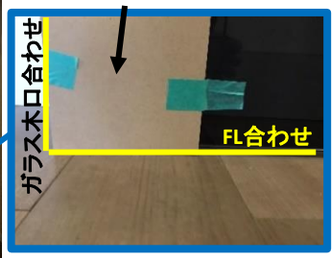
施工手順書2021/9作成

2023/8更新

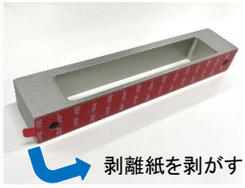
9 ハンドルの取付【VETROの場合】

① ガラスを同梱のアルコールシートで拭き取り、表面の埃や汚れを落としてください。
その後、同梱のハンドル取付治具を仮止めをします。
※型紙の取付治具は使用しないでください

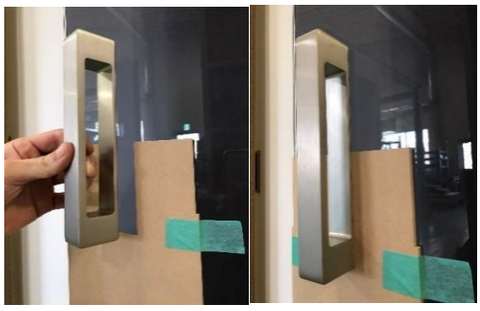
ガラスについている埃や汚れをシートで拭き取る



② ハンドル裏の赤い剥離紙を剥がし、取付治具に合わせてハンドルを取付けてください。
裏側のハンドルも表面に取付たハンドルに合わせて取付けてください。



剥離紙を剥がす



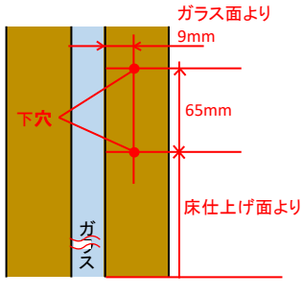
注意

※必ずガラスの表面を綺麗にしてから取付けてください。汚れや埃が残っていると接着されない恐れがあります。
※両面テープを一度貼り付けると外せなくなる為、位置を間違わないように、またズレないように十分に注意して取付けて下さい。
※必ずガラスクリーナーでガラスを拭いてから引手を取付けてください。引手が外れる恐れがあります。

9 ハンドルの取付【MILANOの場合】

① 木部、戸先側小口面へハンドル位置をけがき、ハンドルを仮合わせして確認した後、下穴を開ける。

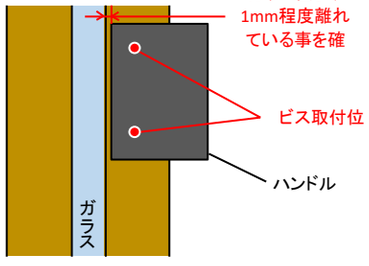
※：B面側の面も同様に行う。



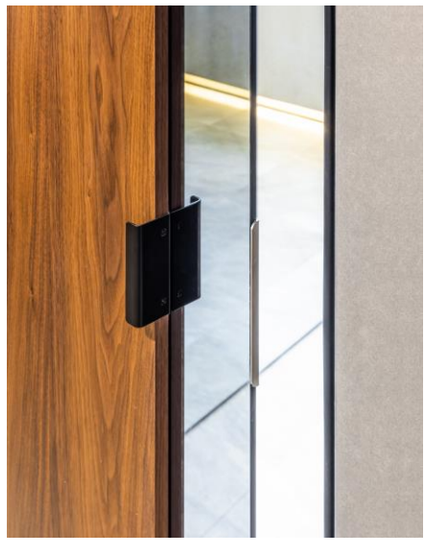
＜戸先小口面＞

② ビスで組み付け、ガラス面より１mm程度離れている事を確認する。

※：B面側の面も同様に行う。



＜戸先小口面＞



注意

※ガラスにハンドルが触れた状態でハンドルを取付けると、ガラスが割れる恐れがあります。

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

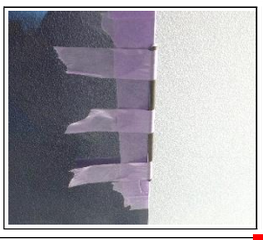
2023/8更新

10 マグネットプレートの取付

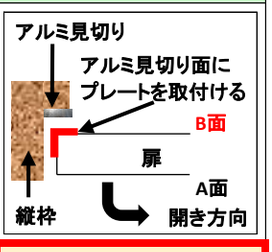
① **ガラスを同梱のアルコールシートで拭き取り、表面の埃や汚れを落としてください。**
建具金物箱に同梱の接着剤を塗ります。
マグネットプレートを取付治具に合わせて**B面**側小口に取付てください。接着剤が乾くまで、マスキングテープ等で仮止めをしてください。

マグネットプレートの内側2面に接着剤を塗る

床から取付治具を置き、**B面**側小口に取付る

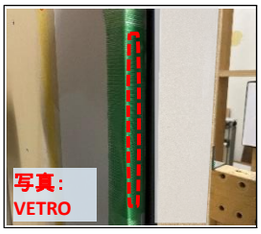


マスキングテープ等で24時間止める



【注意】
取付け向き注意

② マグネットホルダーに養生をして、完全に扉が閉まらないようにしてください。
扉が完全に閉まってしまうと、マグネットプレートが磁石で剥がれてしまいます。



マグネットホルダーに養生をする

扉が完全に閉まらないようにする

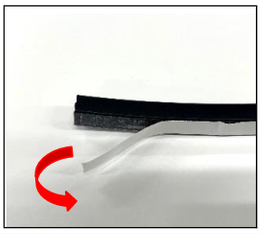
【注意】
マグネットプレートが接着される前に扉を閉めると磁石でプレートが取れてしまいます。

注意

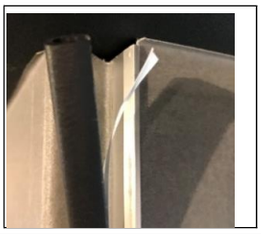
※必ずマグネットプレートを取付る前にガラスを同梱のアルコールシートで拭いてください。接着強度が弱くなる可能性があります。
※冬季で乾燥している時期はマグネットプレートを貼る部分のガラスを少し湿らせてから接着してください。

11 クッション材の取付

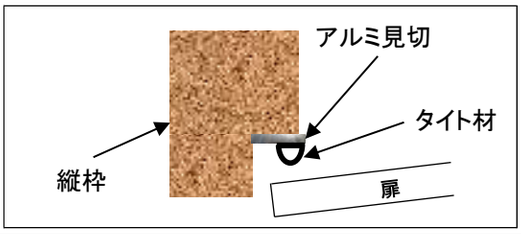
① クッション材の剥離紙を剥がし、アルミ見切り材に貼り付けてください。



剥離紙を少しずつ剥がす

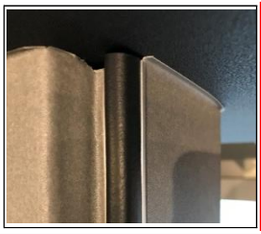


クッション材を取付る



アルミ見切り材の開口側端部に合わせて貼る

② クッション材を切って下さい。



クッション材を切る

【注意】
クッション材は分割せずに、1本で通しで貼る

注意

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

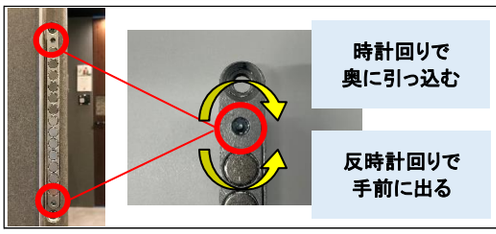
forステルス枠

施工手順書2021/9作成

2023/8更新

12 マグネットホルダーの調整

① **【マグネットホルダーの調整】**
マグネットホルダーの六角部分を同梱の六角（呼び4）で回し、調整してください。
ガラス木口からマグネットホルダーの距離は５㎜を推奨しています。



【注意】
回し過ぎに注意してください。

同梱の六角（呼び4）を使い、
左右調整をする

注意

※マグネットホルダーとマグネットプレートの距離が近すぎるとマグネットプレートが取れてしまう恐れがあります。ガラス木口からマグネットホルダーは5mm以上のクリアランスを設けてください。

13 別売の「床付戸当たり」取付時の注意点

① オプションの床付戸当たりを取り付ける場合は必ず**扉の中央より戸先側に取付けてください。**
扉の中央より吊元側には取り付けないでください。吊元側に取り付けると床付戸当たり、及びヒンジに悪影響を与え、ガラス扉が脱落する恐れがあり危険です。

○

×

ガラス扉脱落の恐れがあり危険です

注意

□片開き戸
VETRO、MILANO兼用

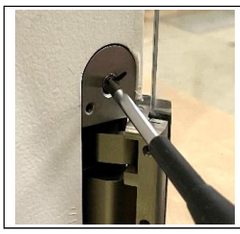
forステルス枠

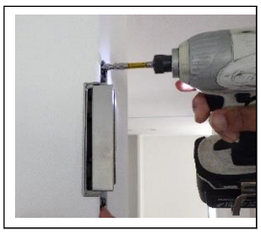
施工手順書2021/9作成

2023/8更新

メンテナンスについて

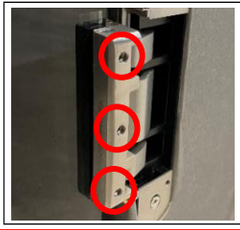
① ネジの緩み等、異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。
（お使い始めてから1ヵ月、6ヵ月、その後は1年毎を目安にしてください。）





ヒンジカバーを取り外して、
電動ドリルで増し締めをする。

ヘクサロビュラLレンチ
T20で増し締めする



【注意】
必ずガラスが奥まで入っていることを確認する。

トルクレンチ3mmソケットで増し締めする。

【トルクレンチが無い場合】

上ヒンジから調整する

注意